

# 福島 プレイワーカー 研修会 [第1回]

1泊2日  
合宿

遊びの力はムゲンだぜ！

2011.3.11 東日本大震災で、家族・地域・自然・文化…様々なご縁が失われ、子どもにとって最も大切な「遊び」環境が奪われました。今、その「遊びの力」を最大限に引き出し、子どもの豊かな環境を育むプレイワーカーが必要とされています。物理的にも精神的にも、遊び場や遊び内容が限定される地域だからこそ、室内外に関わらず子どもたち一人一人の感性を大切にしたい有機的な遊び場が大切だと感じています。そこで、主に福島県の現地活動団体を対象に、プレイワーカー研修会を開催します。悩みやノウハウをシェアし、一緒に豊かな遊び場をつくりましょう。

日程 1泊2日

9月18日[木]～9月19日[金]

## 室内・外の遊び場づくりの プロフェッショナルを育成！

かーびー & めだか  
& 川崎市子ども夢パーク  
& 駒沢はらっぱプレーパーク  
が待ってるよ！



- 対象：福島で遊びの現場に関わる方  
(NPO、児童厚生員、放課後児童クラブ指導員、保育士、プレイリーダーなど)
- 会場：神奈川県川崎市 川崎生涯研修センター、川崎市子ども夢パークなど
- 定員：25名 ※1団体3名まで
- 参加費：無料 ※飲食代として3000円自己負担(1日目：夜、2日目：朝、昼)
- 補助：交通費往復分の半額(上限1万円) ※タクシー代は支給対象外  
※現地集合・解散

主催：NPO法人コドモ・ワカモノまちing  
共催：認定NPO法人ビーンズふくしま  
後援：福島県、公益社団法人子ども環境学会

Support by LUSH

# プログラム内容

1 日目		2 日目	
集合：12:30 @川崎生涯研修センター		子ども夢パーク	●インタビュー ●実践スキル講座 (ロープワーク、ティピづくり、 手作り遊具のつくり方など)
1	プレイワークの基礎 — 子どもの「遊ぶ」を知ろう ●大人は何のために必要なか ●遊びごころのタネはどこにある？ ●「遊ぶ」のプロファイリング — 「遊ぶ」を通して子どもと関わる ●子どもに関わる人の危険管理技術 ●プレイワーカーのクオリティ ●実践を振り返り	駒沢はらっぱ プレーパーク	●インタビュー (地域でのプレーパークのつくり方、 地域の人の関係のつくり方など)
2	創作遊び ワークショップ ●まち遊び&道遊び&創作遊びの実践紹介 ●ムゲンの創作遊びと安全管理 ●今だけ×ここだけ×私たちだけの遊び場づくり ●シェアリング	解散：15:00 @駒沢はらっぱ	



めだか  
**嶋村仁志** (TOKYO PLAY 代表)

1968年東京都生まれの4歳児のお父さんプレイワーカー。英国リーズ・メトロポリタン大学プレイワーク学科高等教育課程修了後、羽根木プレーパーク(世田谷区)にて、プレーリーダーとなり、その後、川崎市子ども夢パーク(神奈川)、プレーパークむさしの(東京)などでプレイワーカーとして関わる。2010年にTOKYO PLAYを設立。「すべての子どもが豊かに遊べる東京」というミッションの元、とうきょうプレイデーやプレイワーク研修など、様々なプロジェクトに取り組んでいる。NPO法人日本冒険遊び場づくり協会理事や国際NGOであるIPA(子どもの遊ぶ権利のための国際協会)東アジア副代表(2005～2011)を務める。

プロフィール  
講師

かーびー  
**星野 諭** (コドモ・ワカモノまちing 代表)



1978年新潟県妙高高原町生まれの2歳児のお父さんプレイワーカー。幼少時代は、野山を駆け回って遊び、川魚を捕まえ、薪風呂で育つ。高校時代から様々なボランティア活動を行い、2001年の学生時代に団体を設立し、空き家を改装した子ども基地や遊び場づくり、環境デザインや地域イベントなどを実施。2008年にNPO法人コドモ・ワカモノまちingを立ち上げ、全国で遊び・建築・観光・教育・福祉・防災・環境・まちづくりなど多分野で活動中。一級建築士であり、地域コーディネーターでもあるため、ソフト・ハードともにこども環境をデザインしている。毎年10万人の子どもの関わり、1000名以上の若者と共に100以上の企業や団体と協働している。

子ども × 遊び  
大人  
プレイワーカー



川崎市子ども夢パーク

“子どもの自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける施設”子どもが「やりたい」と思ったことにチャレンジできるよう、できるだけ禁止事項をつくらず、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大事にしています。自然を生かし自由な発想で遊べるプレーパークエリアや、中高生がよく利用する音楽スタジオ、創作スペースや居場所となるフリースペースといった室内施設も充実しています。

視察先

駒沢はらっぱ  
プレーパーク



住宅街の広場につくられた地域住民で運営されているプレーパーク。遊具は全て常駐のプレーリーダーや地域のボランティアにより作られている、子どものための自由な遊び場です。地域の大人たちも集い、自分のやりたいことに思いおもいに挑戦している子どもたちを見守っています。お昼は子どもがたき火でご飯づくり、大人も一緒に食べることもあるアットホームな場です。

2年間で計5回、様々なテーマで連続開催していきます。(2015年冬、春、夏、2016年冬に順次開催予定)  
次回の詳細日程は今回参加者と調整し、また今回参加者が優先的に参加可能となります。

## お申込み

- ① 参加者氏名(ふりがな)
- ② 性別 ③ 所属 ④ 年齢
- ⑤ 住所(事前の保険加入に必須)
- ⑥ 連絡先(電話番号並びにPCアドレス・携帯アドレス)
- ⑦ 交通費(往復のルートと金額を記載) をご記入の上、

**sanka@k-w-m.jp**

までご連絡ください。

※締切り：8月17日(日)



## 団体紹介

**NPO法人コドモ・ワカモノまちing**  
子ども・若者のご縁をつむぐ&まちを育む(愛称: まっちゃんぐ)



## 「遊びは、世界を平和にする!!」

あらゆる感覚を使って、感動・感性・感謝の気持ちを育む「感育」をコンセプトとし、主に0～20代の子ども・若者を対象に、遊び×環境・防災・建築・福祉・食・まちづくりなどの多分野で、都内を中心に全国で活動しています。毎年10万人の子ども・若者と関わり、100以上の企業や団体と協働し、数人の遊び場やワークショップから、数万人のイベントを実施しています。私たちは、遊びを通して、子ども・若者の「内の環境(心、技、体、知…)」と「外の環境(人、自然、文化、地域、地球…)」を豊かにし、ご縁を有機的に紡ぎ、ハートのつづつづいっばいのまちを育てていきます。

✉ [sanka@k-w-m.jp](mailto:sanka@k-w-m.jp) ☎ 03-6806-0012 <http://www.k-w-m.jp>

## ▶ 3.11 震災復興支援活動 コドモ∞ムゲンプロジェクト

被災地で子どもの居場所や遊び場づくり、地域コミュニティ育成やNPO研修などを行っています。また、多くの方が3.11と共に歩んでいけるよう、都内等では被災地の子どもたちを迎えたイベントや講演会を実施しています。みなさまのご支援よろしく申し上げます。



寄付や活動の詳細についてはコチラ▶ <http://mugen.k-w-m.jp>